

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成30年9月20日(2018.9.20)

【公表番号】特表2017-531527(P2017-531527A)
【公表日】平成29年10月26日(2017.10.26)
【年通号数】公開・登録公報2017-041
【出願番号】特願2017-522081(P2017-522081)
【国際特許分類】

A 6 1 M 5/148 (2006.01)

A 6 1 M 5/142 (2006.01)

【FI】

A 6 1 M 5/148

A 6 1 M 5/142

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月8日(2018.8.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可撓性のあるブラダから流体を分配するための流体分配装置であって、
流体で満たされた可撓性のあるブラダを収容するように構成された第1および第2圧縮面と、

少なくとも一方の圧縮面を他方の圧縮面に移動させ、それによって使用中の前記ブラダを圧縮し、前記ブラダから流体を分配するように構成されたアクチュエータとを備え、

前記アクチュエータは、前記圧縮面の第1端部およびそれと向かい合う第2端部に対して、同時にまたは独立に作用するように構成され、それによって、一方の圧縮面が、他方の圧縮面に対して並進または回転によって選択的に移動可能であることを特徴とする流体分配装置。

【請求項2】

移動可能な前記圧縮面は、連結部によって前記アクチュエータと移動可能に接続された本体を備える、請求項1に記載の流体分配装置。

【請求項3】

前記連結部は、前記アクチュエータと前記本体の間に枢動可能に接続された少なくとも二つのアームを備える、請求項2に記載の流体分配装置。

【請求項4】

前記アクチュエータは、軸方向に伸長可能であり、伸長時には前記連結部のアームが前記本体を前記他方の圧縮面に向かって動かす、請求項3に記載の流体分配装置。

【請求項5】

前記アクチュエータは、回転可能なシャフトとそれに取り付けられた偏心カムを備える、請求項1に記載の流体分配装置。

【請求項6】

前記可撓性のあるブラダを収容するためのケーシングをさらに備え、前記ケーシングの第1壁が一方の圧縮面を形成する、請求項1に記載の流体分配装置。

【請求項7】

前記アクチュエータは、前記ケーシングの第2壁に固定されており、前記第2圧縮面は

、前記アクチュエータによって前記ケーシングに対して相対的に移動可能である、請求項 6 に記載の流体分配装置。

【請求項 8】

前記圧縮面と使用中の前記可撓性のあるブラダとの間に設置可能な少なくとも一つの保護部材をさらに備える、請求項 1 に記載の流体分配装置。

【請求項 9】

前記ブラダが空または空に近くなる时候を検出するように構成された検知手段をさらに備える、請求項 1 に記載の流体分配装置。